

平成22年度 見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク 第3回運営会議

日時：平成23年2月23日（水） 14:00～16:00

場所：コムナーレ 9階第15集会室

1. 開 会

- ① 配布資料の確認
- ② 町田技監の挨拶
- ③ 猪瀬会長の挨拶



運営会議風景

2. 議 事

1) 「第2回見沼たんぼクリーン大作戦」について

- ① 少雨決行とあるが、朝携帯に電話をすれば判断つくか。また、中止はあるか。(猪瀬会長)
→ 当日朝携帯に電話を市にもらえればわかる。翌日は場所を取ってあるが、翌日以降の延期はない。(事務局)
→ 中止になっても、やれる人がいればやろうと思うが、ゴミの回収はしてくれるのか。(浦和西高斜面林友の会)
→ ゴミの回収は行う。(事務局)
→ 市としては、土砂降り以外はやることになっている。(安田課長)
→ 終わりは勝手に終わっていいのか。(浦和西高斜面林友の会)
→ ここでルールを決めたい。当日携帯で連絡するようにしてはどうか。(安田課長)
→ 終わったら、終了したということで事務局まで携帯に連絡をほしい。(事務局)
- ② さいたま市公園緑地協会は、市の外郭団体である。市内の大部分の公園の指定管理者となっている。地元自治会が関わっている公園もある。連携して独自のイベントをしているなど地域との関わりも協会としてある。その状況の中で、まづは一緒に加わって勉強していきたいということで、後援に加わった。(安田課長)
→ 異議はない。(猪瀬会長)
- ③ 当日飛び込み参加があった場合は、参加賞はどうすればよいか。(グラウンドワーク in 芝川)
→ 団体の皆様には余裕を持ってお渡しして、予備が足りない場合は、会員の方の分をお渡しして後から会員の方の分はお渡しする。(事務局)
- ④ 開催時間は何時から何時までか。(見沼ふれあい散歩の会)
→ 合併公園参加の方は別途連絡する。9時受付開始、9時半よりスタートで、概ね12時までには終了する。(事務局)

2) 平成23年度事業計画について

- ① 写真コンクールの応募作品は、どこで撮ったものかわからないものが多い。(見沼の自然と環境を守る会)
→ 今年度見沼たんぼ以外の写真が入っていたのは、事務局の不手際であり申し訳ない。エリアの線引きは難しい。明らかに見沼たんぼでないものは審査対象外にするなどの対応をしていきたい。斜面林は入れてもよいのではないかという話は前回の企画事業部会でも話が出た。見沼たんぼらしいがエリアから外れている写真については、審査会で皆様に審議いただきたい

い。昆虫や鳥などのアップは見沼たんぼの中かわかりにくい写真もあるので、撮影場所を明記してもらうことにする。(事務局)

→基本計画のふるさとエリアの写真は対象に含めるのか。ふるさとエリアは見沼たんぼと連続性があり、美しい所である。神社や斜面林もあり、市民ネットとも関連がある。(見沼ファーム21)

→その辺りをどうするか、市民ネットの皆様判断していただきたい。(事務局)

→熊谷園のエリアは、象徴的なエリアも無くなりつつあるから記録的な意味があり必要だと思う。(猪瀬会長)

②テーマの設定はここで議論するのか。(猪瀬会長)

→別枠の募集をしてよいかどうかをこの場で決めたい。くわしいテーマについては、部会で揉んで別途話し合いをしたい。(事務局)

→「私の好きな見沼たんぼ」だと私の好きな鳥や私の好きな花などマニアもいるので、「私の好きな見沼たんぼ」として風景を提出してもらった方がよいのでは。(日本野鳥の会)

→中学生以下の部を作るのはよいと思う。(猪瀬会長)

→見沼たんぼをふるさと原風景に残してしてほしいので、良いアイデアだと思った。(浦和西高斜面林友の会)

③携帯で撮影できるが、それでもよいのか。一般的に中学生がカメラを持っているのか。(見沼ファーム21)

→デジカメはみんな持っているので良いのではないか。(見沼ふれあい散歩の会)

→審査のポイントは、技術点ではなく別に小中学生らしさを審査した方がよい。それをどう審査するかがポイントである。(日本野鳥の会)

→現像するのは負担になるので、メールで送ってもらってHPに貼りつける方法もある。応募者が高齢化しているので、次に繋げる意味でも若い世代にも参加してもらう工夫が必要である。(猪瀬会長)

→入口を分けなくて年齢別に審査すればいいのではないか。(日本野鳥の会)

→テーマや審査方法については、部会で揉んでもらう。(猪瀬会長)

④見沼で賑やかなのは桜の4月のころ。その時を利用して何か事業ができないか。家庭菜園をやっている人が多い。そういう人に繋がる事業はできないか。(グラウンドワーク in 芝川)

→4月は年度の切り替えで、担当者が変わることもあるので事業を実施するのは難しいと考える。部会でも桜並木をもっと広報したいという話が出ている。事務局でも考えてみる。皆さんの中でアイデアがあれば、再来年度に向けて取り入れていきたい。

⑤クリーン作戦は秋にも行いたい。全体が参加できる工夫ができればと思っている。(見沼市民フォーラム)

→時期については、以前市民ネットで、田植え前の水路を綺麗にするという名目でこの時期に決まった。(事務局)

→ゴミを効率的に回収するのに良い時期であるということだった。(浦和西高斜面林友の会)

→基本的は日常的にやるのが大事。みんな自分たちで行っている。クリーン作戦は社会的アピールのようなもの。2回行うのは大変ではないか。(猪瀬会長)

3) ホームページの更新に向けて

①HPで、クリーン作戦に参加したい人がどこで活動するかわかるチラシは見られるか。(見沼ファーム21)

→チラシのPDFはHPから閲覧できる。(事務局)

②HP閲覧数は把握しているか。(日本野鳥の会)

→1月25日現在で1,973件。総計112,038件である。1月平均2,500~3,500件である。

→HPを作成して、お金をかけて改善された数値を提示してほしい。(日本野鳥の会)

→平成22年度は若干多くなっているが、大体横ばいである。HP運用部会で来年度トップページの変更の話があり、各団体のリンクをトップページにもっていく予定である。表示方法は事務局で案を考える。また部会で謀りたい。(事務局)

③3月末に芝川に遊歩道ができる。そのことはHPに反映しているか。(日本野鳥の会)

→クリーン作戦でもPRしたいとのこと。県の該当ページと見沼のHPをリンクする予定であるが、先方が現在準備段階でまとめているところである。(事務局)

3. 報 告

①市民の憩える場所プロジェクトを見沼自然公園北の用水所に見沼自然公園ベンチ・デッキの整備をしている。以下の日程で市民の方と整備を一緒にやっていきたいと考えている。お時間があれば、参加頂きたい。こちらは、散歩道マップに反映していく予定。

2月25日(金) デッキ・ベンチの設置

2月26日(土) "

3月5日(土) 植栽の設置(完成記念撮影)

4. その他

①(猪瀬会長より案内)2月26日(土)に『見沼田んぼ福祉農園』Presents 研究対話集会を行う。興味のある方は、お待ちしております。

②次回、平成23年度第1回運営会議は、平成23年5月25日(水)14時からコムナーレ9階第15集会室にて開催予定。

5. 閉 会

以上